

## 牛の受胎率向上を目指した取り組み

畜産センターでは、牛の人工授精や受精卵移植の技術指導を行っていますが、受胎率向上が課題となっています。

そこで、2月3日には府の担当者会議を当センターで開催し、各家畜保健衛生所から受胎率向上の取り組み事例の報告を受け、意見交換しました。

2月21日には府家畜人工授精師協会主催の研修会で、農家で人工授精を行っている団体職員等を対象に、当センター職員が「牛の繁殖成績向上のための受精卵移植」と題した講演で、技術的なポイントや工夫などを解説したところ、「受胎率向上には牛のコンディションの把握が重要だが、それを見極める技術を身につけたい。」との感想が聞かれました。

このような取り組みを通して、府の担当者や畜産関係者が技術を研鑽することで受胎率を向上させ、京都府産子牛を増産することにより、子牛せり市の活性化や畜産農家の経営向上につなげたいと考えています。



各地域の課題や優良事例について  
情報共有（担当者会議）



受精卵移植のポイントや工夫につ  
いて意見交換（人工授精師研修会）